

## 令和2年度6月補正予算概要

- ・国の補正予算を活用し、国の目指す「GIGAスクール構想の実現」に向け、市内19小中学校に児童・生徒1人1台タブレットの配備を推進します。
- ・今後の社会経済情勢を見据えた中で、納税猶予等の影響により税収減が予想されるのはもとより、新型コロナウイルス感染症対策で疲弊した市内経済をさらに力強く回復させるため、市民に直接的な影響の少ないイベント事業、ソフト事業、建設事業などの不急な事業を見直し、必要な財源確保に努めます。

### I 一般会計(4号補正)

#### 1 歳入歳出予算の補正

(補正前 60,406,063千円、補正額 △394,488千円、補正後 60,011,575千円)

##### (1) 歳入

・ 社会資本整備総合交付金(国庫支出金)	△ 194,319 千円
・ 公立学校情報機器整備事業費(国庫支出金)	317,745 千円
・ 新型コロナウイルス感染症対策寄附金	10,000 千円
・ 教育環境充実事業指定寄附金	10,000 千円
・ 新まちづくり基金繰入金	△ 163,280 千円
・ 公共施設等あんしん基金繰入金	4,500 千円
・ 市債	△ 377,900 千円
・ その他	△ 1,234 千円

**合計**      **△ 394,488 千円**

##### (2) 歳出

#### ①にぎわいがあり自然に優しいまち

◇ 企業立地促進に向けた補助の充実	30,000 千円
小計	30,000 千円

#### ②便利で快適に暮らせるまち

◇ (仮称)上郷河原口線整備事業費(JR相模線・相模鉄道横断部)の見直し	△ 367,500 千円
小計	△ 367,500 千円

#### ③豊かな学びを育むまち

◇ 「GIGAスクール構想の実現」に向けた1人1台タブレット等の推進	317,745 千円
◇ 感染症対策のため、消毒用の次亜塩素酸水生成器を各小中学校に設置	10,257 千円
小計	328,002 千円

#### ④その他

◇ 市長・副市長・教育長の期末手当引下げに伴う減額	△ 2,169 千円
◇ 市議会議員の期末手当引下げに伴う減額	△ 2,517 千円
◇ 市長の旅費・交際費等の減額	△ 824 千円
◇ 農業委員会委員の視察旅費等の減額	△ 642 千円
◇ 新型コロナウイルス感染症対策によるイベントの中止・縮小	△ 41,152 千円
◇ 新型コロナウイルス感染症対策によるソフト事業の見直し	△ 60,398 千円
◇ 新型コロナウイルス感染症対策による普通建設事業の見直し	△ 539,366 千円
◇ 新型コロナウイルス感染症対策による道路事業の見直し	△ 145,799 千円
◇ 財政調整基金積立金	403,787 千円
◇ その他	4,090 千円
小計	△ 384,990 千円

**合計**      **△ 394,488 千円**

## 2 継続費の補正

### (1) 変更

#### ① (仮称) 上郷河原口線整備事業費 (JR相模線・相模鉄道横断部)

(単位：千円)

	補正前	補正後	増減
平成27年度	100,000	100,000	0
平成28年度	171,000	171,000	0
平成29年度	226,000	226,000	0
平成30年度	835,000	835,000	0
令和元年度	900,000	900,000	0
令和2年度	767,500	400,000	△ 367,500
令和3年度		367,500	367,500
総額	2,999,500	2,999,500	0

(理由) 新型コロナウイルス感染症対策により一時工事が中断し、今年度の事業進捗に影響が出ることから、全体的な事業進捗に影響が出ないよう継続費の期間延期を行う。

## 3 債務負担行為の補正

### (1) 追加

#### ① 児童扶養手当システム機器賃貸借

期間：令和2年度～令和7年度

限度額：48,865千円

(理由) システムオープン化に伴い、翌年度以降の5年間の機器賃貸借契約を締結するため

## 4 地方債の補正

### (1) 追加

① 清掃施設整備事業債 限度額 1,400千円

(理由) 対象事業開始に伴う市債の増

② 農業施設整備事業債 限度額 6,400千円

(理由) 対象事業開始に伴う市債の増

③ 小学校施設整備事業債 限度額 10,000千円

(理由) 対象事業開始に伴う市債の増

④ 中学校施設整備事業債 限度額 64,900千円

(理由) 対象事業開始に伴う市債の増

### (2) 変更

① コミュニティセンター大規模改修事業債 限度額 131,700千円 → 108,800千円

(理由) 財源更正に伴う市債の減

② 道路橋りょう整備事業債 限度額 1,454,700千円 → 1,256,900千円

(理由) 対象事業費の減に伴う市債の減

③ 都市計画整備事業債 限度額 348,800千円 → 310,500千円

(理由) 対象事業費の減に伴う市債の減

④ 消防施設整備事業債 限度額 401,200千円 → 432,300千円

(理由) 対象事業費の増に伴う市債の増

⑤ 有馬図書館大規模改修事業債 限度額 388,100千円 → 305,500千円

(理由) 財源更正に伴う市債の減

⑥ 保健体育施設整備事業債 限度額 132,600千円 → 8,300千円

(理由) 対象事業費の減に伴う市債の減

### (3) 廃止

① 市庁舎LED化整備事業債 限度額 25,800千円 → 0千円

(理由) 事業の延期に伴う廃止